



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社
 コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 清久
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 丸岡 和広
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 06-6305-2801

平成23年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,783	0.9	1,719	△2.5	1,669	△2.3	1,026	△25.7
23年3月期第2四半期	10,691	56.6	1,763	—	1,709	—	1,381	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 781百万円 (△28.1%) 23年3月期第2四半期 1,086百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	41.46	—
23年3月期第2四半期	55.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,024	25,984	74.2
23年3月期	35,368	25,500	72.1

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 25,984百万円 23年3月期 25,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	12.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△1.2	3,100	△21.2	3,100	△19.9	1,900	△34.6	76.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	25,042,406 株	23年3月期	25,042,406 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	288,723 株	23年3月期	287,355 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	24,754,587 株	23年3月期2Q	24,758,327 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクなどがありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災により停滞を余儀なくされた生産活動も一部サプライチェーンの復旧により持ち直してきましたが、円高・株安の進行、原発問題や電力使用制限の長期化、加えて欧州経済危機による世界経済の減速懸念など、企業業績に与える不安材料も多く、景気の先行きは依然として不透明感ただよう状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループはお客様のニーズに応える迅速な新製品開発やエンドユーザー営業の強化など国内外一体となった販売活動に努めてまいりました。

産業機器関連事業のシール製品は海外需要の積極的な取り込みや復興需要にも支えられ、前年同期比増収増益となりました。また電子機器関連事業の半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は半導体市況が期半ばから低迷し、売上高、利益とも前年同期を下回ることとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高107億83百万円（前年同期比0.9%増）、経常利益16億69百万円（前年同期比2.3%減）、四半期純利益10億26百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は55億46百万円（前年同期比4.9%増）、電子機器関連事業は51億93百万円（前年同期比3.1%減）、その他部門（不動産賃貸）は43百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、産業機器関連事業は10億99百万円（前年同期比21.1%増）、電子機器関連事業は6億9百万円（前年同期比26.9%減）、その他部門（不動産賃貸）は18百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金並びにたな卸資産は増加しましたが、売上債権、有形固定資産及び投資有価証券の減少等により前期末比3億44百万円減の350億24百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比3億34百万円減の23億34百万円となりました。純資産は、四半期純利益等により前期末比4億83百万円増の259億84百万円となり、自己資本比率は74.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは法人税等の支払額9億70百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益16億82百万円、減価償却費5億70百万円及び売上債権の減少額8億35百万円等により19億67百万円（前年同期は10億13百万円）となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは定期預金の預入による支出1億42百万円並びに有形及び無形固定資産の取得による支出1億87百万円等により△3億12百万円（前年同期は△1億54百万円）となり、財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済による支出3億34百万円及び配当金の支払額2億95百万円等により△6億39百万円（前年同期は△4億25百万円）となりました。

その結果、現金及び現金同等物は前期末比9億67百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は70億16百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は、現時点において決算発表時（平成23年5月11日）に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,254	8,365
受取手形及び売掛金(純額)	10,426	9,595
商品及び製品	493	564
仕掛品	1,068	1,057
原材料及び貯蔵品	547	604
その他	508	479
流動資産合計	20,299	20,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,986	6,775
機械装置及び運搬具(純額)	1,534	1,425
土地	3,714	3,707
その他(純額)	252	196
有形固定資産合計	12,488	12,105
無形固定資産	63	58
投資その他の資産	2,517	2,193
固定資産合計	15,069	14,356
資産合計	35,368	35,024
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,039	2,969
短期借入金	855	855
未払法人税等	983	637
賞与引当金	574	605
その他	1,193	1,054
流動負債合計	6,645	6,122
固定負債		
長期借入金	1,788	1,453
退職給付引当金	1,110	1,144
資産除去債務	60	60
その他	262	258
固定負債合計	3,221	2,916
負債合計	9,867	9,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	15,117	15,846
自己株式	△140	△140
株主資本合計	25,134	25,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	277
為替換算調整勘定	△176	△154
その他の包括利益累計額合計	366	122
純資産合計	25,500	25,984
負債純資産合計	35,368	35,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	10,691	10,783
売上原価	6,989	7,116
売上総利益	3,702	3,666
販売費及び一般管理費	1,938	1,946
営業利益	1,763	1,719
営業外収益		
受取配当金	44	31
その他	28	27
営業外収益合計	73	59
営業外費用		
支払利息	26	20
為替差損	98	82
その他	3	6
営業外費用合計	127	109
経常利益	1,709	1,669
特別利益		
固定資産売却益	—	13
貸倒引当金戻入額	5	—
補助金収入	22	—
特別利益合計	27	13
特別損失		
投資有価証券評価損	28	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61	—
特別損失合計	89	—
税金等調整前四半期純利益	1,647	1,682
法人税、住民税及び事業税	106	638
法人税等調整額	158	18
法人税等合計	265	656
少数株主損益調整前四半期純利益	1,381	1,026
四半期純利益	1,381	1,026

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,381	1,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259	△266
為替換算調整勘定	△35	21
その他の包括利益合計	△294	△244
四半期包括利益	1,086	781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,086	781

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,647	1,682
減価償却費	657	570
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	31
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△451	33
受取利息及び受取配当金	△45	△33
支払利息	26	20
固定資産売却損益 (△は益)	—	△13
投資有価証券評価損益 (△は益)	28	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,200	835
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△339	△112
仕入債務の増減額 (△は減少)	630	△70
その他	33	△17
小計	1,052	2,925
利息及び配当金の受取額	45	32
利息の支払額	△25	△20
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△58	△970
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,013	1,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5	△142
有形及び無形固定資産の取得による支出	△155	△187
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	21
その他	5	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	48	—
長期借入金の返済による支出	△354	△334
配当金の支払額	△98	△295
その他	△20	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425	△639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	△48
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	332	967
現金及び現金同等物の期首残高	4,440	6,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,773	7,016

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,284	5,361	10,646	45	10,691	—	10,691
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,246	955	2,201	8	2,209	△2,209	—
計	6,531	6,316	12,847	53	12,901	△2,209	10,691
セグメント利益	907	833	1,741	22	1,764	△0	1,763

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び棚卸資産の調整額△3百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,546	5,193	10,739	43	10,783	—	10,783
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,300	1,079	2,379	8	2,387	△2,387	—
計	6,846	6,273	13,119	51	13,170	△2,387	10,783
セグメント利益	1,099	609	1,708	18	1,727	△7	1,719

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去△5百万円及び棚卸資産の調整額△2百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。